

様

サクランボ特報 NO.6

JA 中野市営農センター
JA 中野市サクランボ部会

収穫終了後は、園内を再度見回り樹冠の明るさを確保（夏季剪定及び秋季の誘引等）し、次年度の花芽と樹体の充実を図りましょう。併せて、樹体を健全に保つために速やかに追肥を実施してください。また、梅雨明け以降は、気温の上昇とともにハダニ類の発生密度が高まります。薬剤散布は間隔を空けすぎずに実施しましょう。

*雨除けハウスにおいては、次年度の花芽充実・双子果対策として

- ① **収穫終了後すみやかに被覆を除去** ② **定期的に灌水** を実施して下さい。

1. 薬剤散布

共通注意事項

- ① 隣接園（特に今後収穫期を迎える作物）に飛散しないよう十分注意してください。
② 散布後は、タンク内や散布器具の洗浄を十分に行ない、薬液が残らないよう注意する。

7月下旬（前回散布から14日後）

散布薬剤：水100ℓ当り

・ 散布日 7月 日 ・ 散布量 ℓ

展着剤	10ml	
ダニゲッターフロアブル	50ml	（収穫前日まで、1回以内）
オキシラン水和剤	166g	（収穫後～落葉期まで、3回以内）
サイアノックス水和剤	100g	（収穫14日前まで、2回以内）

*対象病害虫：ハダニ類、せん孔病、ケムシ類（ハマキムシ類）

*散布量：10a当り 600ℓ以上

*注意事項：ダニゲッターフロアブルは開花期の水稻やブドウに薬害を生じるので飛散しないように注意する。

8月上旬（上記散布から14日後）

散布薬剤：水100ℓ当り

・ 散布日 8月 日 ・ 散布量 ℓ

展着剤	10ml	
カネマイトフロアブル	100ml	（収穫7日まで、1回以内）
トレノックスフロアブル	200ml	（収穫21日まで、5回以内）
サムコルフロアブル10	40ml	（収穫前日まで、3回以内）

*対象病害虫：灰星病、炭そ病、幼果菌核病、褐色せん孔病、ハダニ類、ケムシ類、ハマキムシ類
（アメリカシロヒトリ）

*散布量：10a当り 600ℓ以上

*注意事項：ハダニ類多発園は、カネマイトフロアブルに代えて、ダニコングフロアブル2,000倍（前日、1回）を使用する。

*カイガラムシ類対策（特別散布：8月下旬）

カイガラムシ類の幼虫発生園は、アプロードフロアブル 1,000倍（収穫7日前、2回）を散布する。

2. 礼肥（10a当り 目安） 施肥時期：収穫終了後～7月末

天然ボカシ5袋 *樹勢が弱い場合は、さらに追肥グリーン2号を1袋施用する。

次回：8/17 配布予定